

第2期計画の章立て	事務局原案	委員のご意見を踏まえた、第3期計画の章立て（案）
第1章 計画策定にあたって	第1章 計画策定にあたって	第1章 計画策定にあたって
1. 計画策定の背景	1. 計画策定の背景	
2. 計画の位置づけ	2. 計画の位置づけ	
3. 計画の期間	3. 計画の期間	
4. 計画の推進体制	4. 計画の推進体制	
第2章 奈良県スポーツ振興のビジョン	第2章 奈良県スポーツ振興のビジョン	第2章 奈良県スポーツ振興のビジョン
1. スポーツの持つ価値・効果	1. スポーツの持つ価値・効果	
	・現行の内容をベースに、国の改正スポーツ基本法の内容も踏まえ、スポーツの持つ価値・効果を整理 ・「自律性・包摂性」のキーワードへ変更	
2. スポーツ振興を通じて目指すところ	2. 計画の目指すところ	2. 計画の目指すところ
	「だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくり」に取り組むことで、「活き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」の実現、「持続可能で活力ある地域社会」の実現を目指していく。（第2期より変更なし）	
3. スポーツ推進の基本理念	3. 施策の柱	【柱1】多様な主体に応じたスポーツの推進 【柱2】観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出 【柱3】スポーツの推進を支える人材の育成 【柱4】スポーツに親しめる環境づくりと地域の交流促進及び地域の活性化 【柱5】国スポ・全スポ開催を契機としたスポーツ施策の展開
4. 3つの柱と目標		
第3章 スポーツ振興の柱ごとの施策展開	第3章 スポーツ振興の柱ごとの施策展開	第3章 スポーツ振興の柱ごとの施策展開
柱1 スポーツ参加の推進	柱1 多様な主体に応じたスポーツの推進	柱1 多様な主体に応じたスポーツの推進
1. 県民参加型スポーツの推進 柱2の3. へ		
（1）総合型地域スポーツクラブの連携強化	柱3の3. へ	
（2）総合型地域スポーツクラブの活動支援		
（3）総合型地域スポーツクラブによる学校部活動の受け皿づくり 柱1の1. (3)へ		
（4）県民が参加しスポーツを楽しむイベントの開催 柱2の3. へ		
（5）奈良マラソンの開催 主に柱2、柱3へ		
2. 子どものスポーツの推進 柱1の1. へ	1. ライフステージに応じたスポーツの推進	1. ライフステージに応じたスポーツの推進
（1）幼児期のスポーツ（遊び・運動）の推進	（1）幼児期のスポーツ（遊び・運動）の推進	（1）幼児期のスポーツ（遊び・運動）の推進
（2）子どもの体力向上方策の推進	（2）子どもの体力向上方策の推進	（2）子どもの体力向上方策の推進
（3）学校部活動の地域スポーツクラブ活動への移行	（3）学校部活動の地域展開・地域連携	（3）学校部活動の地域展開・地域連携
（4）子どものスポーツ活動環境の充実	（4）子どものスポーツ活動環境の充実	（4）子どものスポーツ活動環境の充実
3. 生涯スポーツの推進	（5）子育て・働き盛り世代のスポーツ実施の促進	（5）子育て・働き盛り世代のスポーツ実施の促進
（1）子育て世代、働き盛り世代のスポーツの推進	（6）高齢者のスポーツ推進	（6）高齢者のスポーツ推進
（2）女性がスポーツに取り組みやすい環境づく 柱1の2. へ		
（3）高齢者のスポーツ推進 柱1の1. (6)へ	障害者・女性に着目したスポーツの推進を盛り込む	
4. 障害者スポーツの推進 柱1の2. へ	2. インクルーシブスポーツの推進	2. インクルーシブスポーツの推進
（1）スポーツを通じた共生社会の実現	（1）スポーツを通じたインクルーシブ社会の実現	（1）スポーツを通じたインクルーシブ社会の実現
（2）スポーツに取り組む機会の充実	（2）インクルーシブスポーツに取り組む機会の充実	（2）インクルーシブスポーツに取り組む機会の充実
（3）障害のある人がスポーツを楽しむことができる環境づくり	（3）インクルーシブスポーツを楽しむことができる環境づくり	（3）インクルーシブスポーツを楽しむことができる環境づくり
（4）障害者スポーツを支える人材の育成	（4）インクルーシブスポーツを支える人材の育成	（4）インクルーシブスポーツを支える人材の育成
	柱2 観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出	柱2 観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出
	1. プロスポーツを観る機会の創出	1. プロスポーツを観る機会の創出
	2. スポーツ関心層の拡大	2. スポーツ関心層の拡大
	3. 県民参加型スポーツの推進	3. 県民参加型スポーツの推進
柱2 スポーツの推進を支える人材の育成	柱3 スポーツの推進を支える人材の育成	柱3 スポーツの推進を支える人材の育成
1. 人材の育成（コーディネート・マネジメント・指導者）	1. 選手の育成	1. 選手の育成
2. 選手の育成	2. 人材の育成（コーディネート・マネジメント・指導者）	2. 人材の育成（コーディネート・マネジメント・指導者）
3. サポート体制の整備	3. サポート体制の整備	3. サポート体制の整備
	4. スポーツ医・科学の活用による安全性の確保	4. スポーツ医・科学の活用による安全性の確保と ライフパフォーマンスの向上
4. 観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出 柱2へ	5. スポーツ団体等の健全性の確保	5. スポーツ団体等の健全性の確保
5. 健全性・安全性の確保 柱3の4. 及び5. へ	柱4 スポーツに親しめる環境づくりと地域の交流促進及び地域の活性化	柱4 スポーツに親しめる環境づくりと地域の交流促進及び地域の活性化
柱3 スポーツに親しめる環境づくりと地域の交流促進及び地域の活性化	1. スポーツ環境の整備 木質化・県産木材利用」を盛り込む	1. スポーツ環境の整備
1. スポーツ環境の整備	2. 脱炭素社会実現への貢献 ハード・ソフト両面での貢献	2. 脱炭素社会実現への貢献
2. 情報発信 柱4の4. へ	3. 地域における交流促進と経済活性化	3. 地域における交流促進と経済活性化
3. 地域交流の促進	4. 情報発信 木質化・県産木材利用」(再掲)を盛り込む	4. 情報発信
4. 地域経済の活性化	「デジタル技術の活用」を盛り込む	
5. 国スポ・全スポ開催を契機としたスポーツ施策の展開		
	柱5 国スポ・全スポ開催を契機としたスポーツ施策の展開	柱5 国スポ・全スポ開催を契機としたスポーツ施策の展開
	1. 選手の育成（再掲）	1. 選手の育成（再掲）
	2. 会場となる市町村の施設整備の支援	2. 会場となる市町村の施設整備の支援
	3. 国スポ・全スポ開催に向けた機運醸成	3. 国スポ・全スポ開催に向けた機運醸成